

新医学系指针对应「情報公開文書」改訂フォーム

## 研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

術後疼痛回診 (Acute Pain Service: APS) における術後疼痛レベルとせん妄発生の関連調査

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2018年4月1日から2019年3月24日までに昭和大学病院において手術を受け、術後疼痛回診チーム (Acute Pain Service: APS) の診察を受けた方

### 2. 研究目的・方法

近年、高齢者の手術件数が増加しており、元々の認知機能低下や加齢による身体的特徴によりせん妄のリスク因子を複数持つ患者さんが増加しています。術後疼痛はせん妄増悪のリスク因子とされている一方、

せん妄発生患者さん（特に低活動型せん妄）では意思疎通困難により適切な疼痛評価がなされず、十分な鎮痛を行えていない場合があります。本研究では昭和大学病院および附属東病院で手術を受け、術後疼痛回診 (Acute Pain Service: APS) を受けた患者さんを対象に、回診時せん妄発生の有無と、回診時の疼痛

スコア (Numeric Rating Scale: NRS および Behavior Pain Scale: BPS) の関係および鎮痛薬の使用方法を調査します。

### 研究期間

「医学部 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院 病院長の研究実施許可を得てから2021年3月まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

2018年4月1日から2019年3月22日までに昭和大学病院において手術を受け、術後疼痛回診チーム

(Acute Pain Service: APS)の診察を受けた患者さんの診療録の中から、患者背景(年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬)、手術情報および麻酔情報(施行術式、手術時間、麻酔時間、麻酔方法および使用薬剤、術後鎮痛方法、術中輸液量、術中輸血量、術中出血量、術中 in/out 量)、術後記録(バイタルサイン、術後疼痛レベル、術後せん妄評価、術後 Patient Controlled Analgesia (PCA) 使用回数、疼痛時使用薬剤、睡眠記録、嘔気・嘔吐、使用薬剤、離床状況)を調査項目とします。

#### 4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学麻酔科学講座                      氏名：細川 麻衣子

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 昭和大学麻酔科学講座

電話番号：03-3784-8935

研究責任者：上嶋 浩順